



全国通信三田会報

第117号 2023年(令和5年)7月15日発行

発行 全国通信三田会 会報は正会員の情報紙です。
 発行人 山岡恒夫(会長) *年会費2千円
 事務所 〒300-1282 *郵便振替番号
 茨城県牛久市井ノ岡町 00120-2-18806
 2117 山岡恒夫 複数年度お支払いの意向を
 TEL 029-875-0533 お持ちの方も会計処理でき
 編集人 星野寿美(広報部長) るようになりました。
 印刷所 梅沢印刷所(東京都) *会への連絡は8面の連絡先へ

第一一七号



大同窓会 プリンスタワーにて(左から2番目が筆者)

私は2017年、文学部卒業25周年の塾員招待で卒業式に参列いたしました。今年、80代で2度目の法学部卒業25周年塾員招待会に再び出席できたこと

阿部光江(92文、98法、07経) 感謝一入でした。コロナ禍で対面授業も制限されキャンパスライフを楽しむことも少なかった卒業生は、学生として最後の日を喜びを持って迎えられること

「全国通信三田会」ホームページ
<http://zenkoku2mitakai.pro.tok2.com/>
 「全国通信三田会」Facebook
<https://www.facebook.com/zenkoku.tsuushin.mitakai>
 「全国通信三田会」Twitter
https://twitter.com/zt_mitakai
 「全国通信三田会」受付メールアドレス
ztm-info@googlegroups.com

令和5年3月23日(木)、例年より早く咲いた満開の桜の下、春雨に濡れて緑鮮やかな銀杏並木の日吉キャンパスを、晴れやかな姿の卒業生が日吉記念館へと向かう光景に25年前を懐かし

阿部光江(92文、98法、07経) 感謝一入でした。コロナ禍で対面授業も制限されキャンパスライフを楽しむことも少なかった卒業生は、学生として最後の日を喜びを持って迎えられること

卒業式前の3月18日(土)に「ザ・プリンスパークタワー東京」で卒業25周年大同窓会が開催されました。高橋由伸君、ミッツ・マングループ君のトーク、応援指導部の華やかなパフォーマンス、くじ引き、フィナーレは「若き血」を全員で合唱、卒業式の参加を約して閉会になりました。通信課程からは同窓会出席者4名、卒業式は6名の出席者で少々寂しかったです。

通信課程塾生として、尊敬する教授の方々から多くの知識を学び、多彩な塾生と出会い、塾員となっても多くの先輩、友人と交流でき、豊かな人生を送れたことを感謝しております。

卒業25周年塾員招待会に出席して

2023年全国通信三田会春期幹事会 報告

日時: 2023年5月27日(土) 13:00~15:20
 場所: 三田キャンパス南校舎445教室とZoomのハイブリット方式
 司会: 石川総務部長

0. 塾歌斉唱
1. 中里史朗塾員センター課長より「塾の近況」報告
 開催の言葉: 吉浜副会長・議長: 高橋豊副会長・書記: 須賀総務部副部長 石川総務部長より出席幹事確認→本会は成立。
2. 会長挨拶: 山岡会長
 75年前に通信教育課程の第一回入学式。2万人超の応募に、13001人が入学許可され第1回卒業生は34名。慶應通信卒業生の評価を示すもの。
3. 各部の報告
 2-1 企画部: 出口部長
 2-2 会計: 大川副会長 会計監査: 丸尾会計監査、柴田会計監査 (Zoom)
 2-3 広報部: 星野部長、幸治副会長 (Zoom)
 2-4 渉外部: 迫部長
 2-5 塾員情報部: 金子副部長、田沼副会長 (Zoom)、石川総務部長(補足)
 2-6 情報システム部: 中澤部長
 2-7 総務部: 石川部長、堀内廣新総務部委員
 2-8 地域連絡部: 瀬戸田副会長、伏屋副会長 (Zoom)
4. 各地域三田会報告
 ・鹿児島: 竹下会長 (Zoom) ・東京: 伊藤会長、田中顧問 (Zoom 不在)
 ・茨城: 丸尾副会長、山岡会長 ・沖縄: 長濱会長 (Zoom)
 ・大阪: 野村会長 (Zoom) ・埼玉: 大川会長
 ・神奈川: 竹原会長、吉浜会長 ・千葉: 渡邊会長
 ・愛知: 岩田会長 (Zoom) ・札幌: 吉田会長 (Zoom)
 ・小島副会長 (Zoom) ・静岡: 前澤会長 (Zoom) ・群馬: 田山会長
 ・関西/和歌山/兵庫: 筒井会長 (Zoom) ・広島: 瀬戸田会長
 ・山口/中四国/山陰: 小河会長 (Zoom) ・徳島: 大原会長 (Zoom)
 ・熊本: 都留会長 ・栃木: 近藤会長 (Zoom) ・岡山: 大森会長 (Zoom)
5. その他: 吉浜副会長、平松広報副部長
 閉会

全国通信三田会へご寄付いただきありがとうございます
 片岡久雄 様 神奈川県/篠崎仁史 様 愛知県/芝野義一 様 群馬県
 関口洋子 様 東京都/野村政直 様 滋賀県/伏屋重晴 様 愛知県
 星野寿美 様 群馬県/吉浜健二 様 神奈川県

今後の三田会ご案内

- 「秋期幹事会」10月14日④ 13時~
 三田キャンパス& Zoomのハイブリット方式
- 「連合三田会大会」10月15日④ 10時~ 日吉キャンパス
 沢山の楽しいイベント・美味しい品揃えの模擬店・多彩なゲスト
- 「北関東合同通信三田会」10月21日④
 足利学校・足利フラワーパーク・イルミネーション(日本一の夜景受賞)
 日帰り・オプション宿泊2日間
 お問い合わせ・参加申し込み先/近藤正 橋木会長
 td_kondo@yahoo.ne.jp 070-5089-7134
- 「東南アジア連合三田会」11月25日④ ロイヤルバンコクスポーツクラブ
 お問い合わせ・参加申し込み先/田沼千鶴子 全国副会長
 FAX 03-6874-6718
- 「東京通信三田会55周年」2024年2月10日④
 創立55周年記念祝賀行事予定
 お問い合わせ・参加申し込み先/伊藤岳之 東京会長
 foundation-p@cw.em-net.ne.jp

◆会への連絡は下記へご連絡くださるようお願いいたします。

- ◎会へのご意見など 事務所へは郵送のみでお願いします。
 緊急の用件の場合: 山岡会長、
 Tel 029-875-0533 (夜間7時~11時まで)
 住所・姓変更退会逝去者など 田沼方 Fax 03-6874-6718
 (住所変更は下記塾員センターへご一報!)
<https://www.dcd01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html>
- ◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
 〒340-0003 埼玉県草加市稲荷2-5-2 大川成一方
- ◎「全国通信三田会報」原稿送り先
 〒376-0101 群馬県みどり市大間々84-18 星野寿美方
 Tel & Fax 0277-73-1529 Eメール: sincere@vi.sunfield.ne.jp
 【次号原稿締め切り: 令和5年12月末日まで 原稿字数800字位】

2022年度 会計報告

(1) 収支計算書

(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

1-1: 収入の部 (単位: 円)

科目	予算額	決算額	増減額
会費収入	600名 1,413,000	497名 1,200,000	△103名 -213,000
受取利息	1,000	240	-760
行事収入	250,000	40,000	-210,000
寄付金	50,000	8名 29,000	-21,000
前受より会費収入振替	45名 86,000	45名 84,000	-2,000
当期収入合計(a)	1,800,000	1,353,240	-446,760
前期繰越収支差額(b)	6,305,306	6,035,306	0
収入合計(c)	8,105,306	7,661,546	-443,760

1-2: 支出の部 (単位: 円)

科目	予算額	決算額	増減額
会議費	150,000	186,296	36,296
行事支出	100,000	80,000	-20,000
渉外費	100,000	28,170	-71,830
ユニコン支出	20,000	0	-20,000
事務費	100,000	77,640	-22,360
通信費	100,000	48,640	-51,360
会報費	700,000	712,616	12,616
編集費	70,000	70,000	0
地域三田会援助金	40,000	0	-40,000
データベース運用費	70,000	70,000	0
情報機器システム代	50,000	82,776	32,776
予備費	300,000	136,555	-163,445
当期支出合計	1,800,000	1,492,693	-307,307
当期収支差額	0	-139,453	-139,453
次期繰越収支差額	6,305,306	6,165,853	-139,453

(2) 貸借対照表

2023年3月31日現在 (単位: 円)

科目	科目内訳	前年度決算額	当年度決算額
I 資産の部			
1. 流動資産	現金預金	6,474,306	6,342,853
2. 固定資産		0	0
資産合計		6,474,306	6,342,853
II 負債の部			
1. 流動負債	前受金	169,000	177,000
負債合計		169,000	177,000
III 正味財産の部			
正味財産		6,305,306	6,165,853
(当年度正味財産増減額)		353,392	-139,453
正味財産及び負債合計		6,474,306	6,342,853

(3) 財産目録

2023年3月31日現在 (単位: 円)

科目	科目内訳	内訳金額	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金貯金	現金手許有額	206,976	
	郵便振替	329,777	
	郵便局総合貯金	2,804,486	
	郵便局定期貯金	3,001,614	
資産合計			6,342,853
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	前受会費	177,000	
負債合計			177,000
正味財産			6,165,853

執行部においてパソコン3台、プリンター1台、会員管理ソフト一式、取材用カメラ1台、スピーカー1台、管理保有する。

「会報発送にあたり、梅沢印刷機へ送付先(住所等)を提供し、封入発送いただいております。」
 「卒業生の皆様へは、ご卒業時に会報を発送させていただいております。この機会に是非ご入会いただきますようよろしくお願いいたします。」

2022年度卒業祝賀会



集合写真は了解いただいた方のみ、またオンラインで1画面に25人しか入らない関係上全員掲載できないことをご承知ください

慶應義塾大学通信教育課程「2022年度卒業祝賀会」は3月25日土曜14:30、16:30、147名の参加者(先生方14名、全国通信三田会9名を含む)により、オンライン形式で行われた。祝辞をいただき、堤林法学部長、駒形経済学部長からの祝辞、そして倉田文学部長、大垣経済学部長、原田文学部教授からビデオメッセージをいただいた。法学部から玉井教授、磯部教授、杉田教授、文学部から上枝教授、柏端教授、三尾教授、体育研究所から永田准教授にご参加いただき、新塾員も喜びの笑顔の中、山岡会長から祝辞とユニコン賞贈呈を行った。盛り上がった所で、グループセッションとなり(学部別等10人前後のグループに分かれ)交流を深めた。三田会グループでは、新塾員から「どうすれば全国通信三田会に入会できますか?入会の手続きを教えてください。」「三田会はどのような活動しますか?」等々の三田会への深い関心が寄せられた。

主催の卒祝委員会から謝辞、目録贈呈の後、最後に大屋通信教育部長から締めのお言葉いただき、若き血及び慶應賛歌で閉会となった。

ユニコン賞は2名に贈呈



にししい かずひろ 西井 一博 君

山岡恒夫会長から受賞者へ「賞状」ならびに「記念の盾」を郵送にて贈呈された。ユニコン賞は在学中に慶友会の活動で、学友のために献身的な尽力された方へ感謝と共に、卒業後の三田会での活躍に期待を込めて、全国通信三田会がお贈りする。

2022年度のユニコン賞は西井一博君と石津貴之君の2名。

2022年9月法学部甲類卒業
「慶友会海外ネットワーク」
1995年10月経済学部に入學、97年4月仕事でアメリカへ移住し、海外で学ぶ通信生の為の慶友会の必要性を痛感し、98年4月初代会長として慶友会「海外ネットワーク」を立ち上げ、2000年4月大学から承認された。HPで情報発信や会報発行、スクーリング時の学習会などを実施した。05年9月経済学部卒業。13年4月法学部乙類入學・17年3月卒業。18年4月法学部甲類入學・22年9月卒業



いしづ たかひさ 石津 貴之 君

「西井君よりの挨拶」
2022年9月、3つ目の法学部甲類を卒業の西井一博です。1つ目の経済学部は入學の約1年半後に米国へ移住。科目試験やスクーリングの度に、飛行機で往復は費用も時間も大変で頻度も減り、海外での学びの難しさを痛感。慶友会を創設し活動することで、充実できた。なんといっても、夏スクで初めて会う海外の友との出会いは、学習面や、住んでいる地での生活や文化などの話はずきない。また、三田での見学会では、旧図書館や研究棟の図書館などに感嘆。夏スクで出会った友との交流で、学習の情報交換が増えくる。これぞ「半学半教」の実践だ。

経済学部卒業後は年度三田会役員。法学部乙類卒業後は神奈川通信三田会の役員として活動中。

2023年3月法学部甲類卒業
「福岡慶友会」
2018年4月法学部甲類入學、5月に「福岡慶友会」入会。20年

4月副会長就任。コロナ禍となり例会の実施が難しい中、全国の慶友会に先駆けて20年5月よりオンライン例会をスタートさせた。21年3月会長就任。福岡慶友会のみならず他の複数の慶友会と連携し、オンラインでの慶友会紹介・塾生相談・新入生勧誘活動をリーダーとなり尽力した。講師派遣も2年間の会長就任中、9回実施した。また、会の規約の改正といったアップデートも行い、活発な活動を支えた。

「石津君よりの挨拶」
今春卒業の製薬会社勤務の石津貴之と申します。2020年に新型コロナウィルスの影響で状況は一変しました。科目試験は代替えレポートとなり、リアル試験よりも時間が取られてしまい単位取得は逆に足踏み。学生生活を感じられる夏期スクーリングもWEB、慶友会活動もリアル禁止という三重苦に苦しみました。しかし、慶友会活動もWEBにし、普段遠方にて会合に参加できない会員さんとも繋がれる」と舵を切り直し、福岡慶友会では早期からWEB例会を取り入れました。更にWEBを通して首都圏、関西の慶友会の方々とも繋がることで多くの友を得たのは、慶應に入ってから一番の財産だと思っています。三田会ではこの経験を活かしながらく多くの卒業生を呼び込み、更に活性化させたいと思います。(文責 星野)

卒業50周年式に出席して

根本義夫(1973経)

令和5年4月1日、向かった先は慶應義塾大学日吉記念館。同大学入学式に50年前に卒業した塾員が招待され、新入生を祝う。大学を遠ざかって久しいが、この日はフレッシュな気分が春爛漫の一日を過ごした。

足掛け6年になる学生生活は今では何ものにかえがたい期間であった。学習内容はすっかり忘れた。これまでの半世紀も過ぎてみればあつという間。光陰矢の如しというが、まさにその通り。これで終わりでは無味乾燥なので、慶應に学んだ意義を簡単に触れる。

「学問のススメ」の本当の意味だ。即ち「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」は誰も知っているところ。しかし、この後半は「学問をしたものは富めるが、しないものは貧しい」と続き、現実には、天は雲と泥のような人の差を造っている」と指摘する。平等は見かけ上であり、人間は努力することが大切であり、怠ればたちまち貧乏してしまう。甘くはないと警告を發している。

この思いを常に有していたわけではなく、節目節目で何故か自問自答することがあった。数え切れないほど、様々な人と出会い分かれを繰り返してきた。古稀を過ぎ、先が見えてきたいま、特に何になりたいとの希望はないが、学問のススメの精神を失わずこれからは生きたい



同期卒業で無二の親友の根岸君と共に：左側が筆者

終わりに塾員のみなさん、志を同じくする後輩に幸多からんことを祈る。感謝!

卒業後半世紀の入学式に出席して

濱口豊明(1973経)

「卒業50年を迎える皆様へ」大学学部入学式開催のご案内が届き、50年ぶりに慶應義塾大学を訪れ、大変懐かしさを感じました。入学式前日、鳥取空港から成田空港、空港から電車で日吉駅へ。4月1日(土)入学式当日は晴天、若人賑わう爽やかな式典は、私の心に深く残る大きな思い出となりました。入学式典は、「開式、学事報告、式辞(伊藤公平塾長)、壇上者紹介、教職員代表謝辞、新入生代表入學の辞(葉学部・安田結衣氏)、卒業50年記念(1973年(昭和48年)三田会寄付目録贈呈・挨拶(小泉和久代表幹事)、塾歌、閉式)」の順に挙行されました。

式典後、日吉キャンパスを散策、50年

在学生数データ 2023年度在学生 (2023.5.1現在)



在学生学部別人数

慶應義塾大学通信教育部開設75年記念事業

- 「通信教育部開設100年への備えと位置づけ、各種資料のオンライン化を推進」
 - 既発行済の「開設50年記念史」のデジタル化
 - 「開設75年記念誌(51~75年;デジタル版)」の発刊
- 「通信教育部開設75年記念」寄付金の募集

目的 通信教育課程塾生の修学支援
対象 全通信教育課程卒業生及び一般塾員にご案内する。

会長紹介



沖繩通信三田会会長 長濱直次 (2002法)

沖繩通信三田会長の長濱直次です。2002年に法学部を卒業して当会に入会、2019年末の総会で会長に選任されました。当会は1970年に創立し、50年余の歴史がありますが、最近では新規会員の減少、会員の高齢化等に伴い活動が停滞しています。

私は1985年に地元琉球大学を卒業して厚生労働省に労働基準監督官として採用され、東京、長崎そして地元沖繩で35年間勤務しました。定年退職後の現在は製鉄業を営む会社群の安全衛生担当者として職責を担っています。また2021年からは公立大学で非常勤講師として、週に1回労働法規と労働衛生学概論の講義を担当しています。

慶応大学入学の動機は法律の学習です。私は理工系の監督官で採用されたので、採用後に法律学を労働大学で学びました。しかし、監督実務で法律を扱えば扱うほどもっと深く学習したくなりました。その時、法律の教え方に卓越した文系監督官の先輩が卒業された慶応に関心を持ち、通信教育

制度を発見しました。通信課程なら働ながら良質な学習ができると考えて入学しました。

志をもって入学した慶応ですが、当初から学習は遅滞し卒業までは非常に長い期間を要しました。その理由ですが、職場ではいわゆる若手でしたので、学習しなければならぬ業務量が想像以上に膨大でした。

そのため学習の優先順位は業務の次に代わりました。それから結婚や子供の誕生で更に優先順位が落ちていきました。このような状況が数年続いたので、ついに在籍期限を迎え辞めようかと思いましたが、妻が学習に理解を示しつつづけて応援してくれたこと、職場の業務にも慣れてきたこと、子供たちも成長したことから、もう一度頑張ろうと仕切り直してようやく卒業出来ました。

私が会長に選任されたあとすぐにコロナ禍となり、役員会の申し合わせで、感染を防ぐことを第一として活動自粛を決定しました。しかしこの間、全国通信三田会の山岡会長を始め役員会各位のご好意とご支援でZoom会議方式により役員会、幹事会に参加させていただきました。またご教授いただいた通信技術を活かしてハワイに在住の聖田京子会員や沖繩慶友会の学生とも遠隔会議ができました。そして、会議をきっかけに沖繩慶友会との交流(講師派遣事業に参加)や沖繩三田会ともリアル交流を実現することができました。

2023年度、沖繩通信三田会の目標として、「歴史ある当会の本格再開」を目指し尽力していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

世界の架け橋!



長澤 利明 君 (1992経)

私は、ビール党です。長年、いろいろな国のビールを楽しんできましたが、最も美味しと思うのは個人旅行で行った米国ボストンの地ビールBOSTON LAGER、SAMUEL ADAMSです。ケネディがハーバード大学の学生で頃良く来ていたというレストランで、このビールを楽しんだことがあります。

若い頃から海外志向が強かった為か、それぞれに魅力ある多くの国々を、仕事と個人旅行で、訪れるチャンスに恵まれて来ました。コロナ禍の現在でも、凝り性もなく毎年海外に出掛けています。この3年間では、オーストラリア(シドニー)・マレーシア(クアラ Lumpur)・ニュージーランド(オークランド) 2回、各々約1カ月間滞在しています。(その1) 34才の時に、ヨーロッパ現地法人の駐在員を経験しています。TOSHIBA EUROPA GMBH フランクフルトオフィスです。憧れていたヨーロッパでの生活を、妻子と共に約4年間過ごすことが出来ました。おとぎの国を思わせるドイツに住み、仕事と日常生活を存分に堪能することが出来ました。商品企画と技術サポートが私の主な仕事です。ヨーロッパ全域が、仕事の範囲のため、白夜の北欧にも良く出掛けました。ドイツ人の印象は、質実剛健。100年以上経った家でも、素敵にリホームされ、何処の家のガラス窓もいつも綺麗に磨かれています。



記念で買ったフランクフルトの絵



スペインで買った油絵

す。食事は質素。また、車社会で、制限速度の無いアウトバーンでは、人が変わったように飛ばします。私も負けじと、220km/hのスピードを出したことがあります。(その2) 日本に帰国してからは、社内では国際的企業人に認定され、北米中米・南米・東南アジア・中東などに頻繁に出張しました。個人旅行では、アフリカ(モロッコ)・ペルー(マチュピチュ、地上絵、チチカカ湖)・ロシア(赤の広場、サンクトペテルブルグ)・イタリア(ポンペイ、ピサの斜塔)中国(万里の長城、蘇州)・スペイン(ガウディ、アルハンブラ)等々。(その3) マレーシアでの10年間生活。70才から、MM2H(マレーシアマイセカンドホーム プログラム)という10年ビザを取得し、物価が安く、食べ物やトロピカルフルーツも美味しい、マレーシアでの生活を楽しましただけで、視野が広がった感じがします。本当に感謝しています。気力・体力・資力が続く限り、これからも海外に出掛けたいと思っています。

わが町紹介

南阿蘇村について

熊本通信三田会 津留伴一 (1979法)

私は熊本県のほぼ北東に位置する高森町で生まれ、そこで幼少期から二十才まで過ごしました。出生地に隣接する南阿蘇村について紹介します。同村は平成17年2月に白水村と久木野村、長陽村の三村の合併により誕生しました。毎年春になるとさくらの名所として有名になった「一心行の大桜」がテレビで放映され、全国から多くの観光客が訪れます。

当初は町に昇格する考えもあったが、かつて村として残す方が観光地としてのネームバリューも高いと思われ、村として存続することとなった。村内の観光地などでは、いかにも田舎にいそうなおばあちゃんや「ただの田舎じゃねえよ」と書かれた言葉とともに等身大のパネルがたっているのを見かけた人もいないではないでしょうか。



一心行の大桜



新阿蘇大橋

「阿蘇くじゅう国立公園」阿蘇カルデラの南に位置し、雄大な南阿蘇の山と緑、その

して「日本名水百選」に選定されている白川水源」などに象徴される豊かな自然環境にめぐまれており、毎年国内外から多くの観光客が訪れるとともに、同村に特に避暑地として別荘地を購入する人や、村外から永住する人もおられます。

このように豊かな自然環境にありますが、平成28年の熊本地震では甚大な被災を受けました。震災当時阿蘇大橋が崩落し、大学生が命を落とし、地震直後に行方不明となり、両親が必死に捜索する姿はテレビで幾度となく放映されました。結果的に同村においては震災関連死を含め31名の尊い人命が失われました。又、一方では道路網や交通網が寸断され、通勤、通学にも大きな影響を及ぼすことになりました。特に熊本と大分を結ぶ重要な観光ルートでもある国道57号の寸断や、JR豊肥本線や高森から南阿蘇村を経て最終的には熊本市へ連絡する南阿蘇鉄道の不通など、阿蘇の経済のみならず熊本経済へも大きな打撃となりました。それでも、その後は国を先頭に復旧、復興の動きは早く、現在ではほとんどの道路や鉄道は復旧し、今年7月には一部不通となっていた南阿蘇鉄道も全線開通となり、今後は更なる観光客の増加が期待されます。都会でも田舎でも時の流れは一緒ですが、利便性と効率化に追われる毎日を一步離れて、豊かな自然環境と雄大な阿蘇山を眺めながら、くつろいだ時間を過ごすのも心身の健康を維持するのに必要不可欠だと思います。

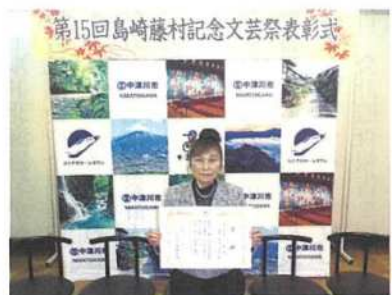
全国通信三田会のみならず、是非熊本へそして南阿蘇村へおいで下さい。

島崎藤村文芸祭の詩部門に入選して

幸治典子 (1972文)

第15回島崎藤村文芸祭の詩部門に入選して12月3日に中津川市での表彰式に出席いたしました。この文芸祭には、今までエッセイで3回ほど挑戦したのですが、選に入らなかったで、今回は、詩部門で挑戦しましたところ、幸いにも佳作で入選しました。1、2、3席の作品に接して、自分なりにこうしたら良かったという思いがありました。4連目の「男の人にもあるでしょう」以下のところを、もう少し具体的に書いたら良かったのではないかと考えたのですが、如何でしょうか。

その後、会場では「詩」の朗読劇や、藤村の名作「破戒」の映画上映などがありました。その後、会場を後にして、馬籠宿へ車を走らせました。「ここまで来て馬籠に寄らずには帰れない」との思いからです。中津川の街道から、ここから木曾路の方へ曲がって行くと、すぐに九十九折の山道に入ります。きれいに整えられた段々畑の中の細い道を行くと、程なくして宿場があり、藤村記念館近くの駐車場に車を止め、石畳の山道を歩きました。「木曾路はすべて山の中」と書き出し



た「夜明け前」に登場する馬籠の人々の苦勞が偲ばれる山の道です。参勤交代の殿様や、皇女和宮様の長い列がここを通り、休息したり宿泊したり、その度に人足や馬を駆りだし

た馬籠の人々の苦勞は如何ばかりであったか！
藤村の生家は本陣でした。もろもろの勞役を引き受けて、馬籠宿を支えていたのでしよう。記念館には藤村の原稿など展示が並び、この館も馬籠の人々が木曾産樹木を運び作られました。帰り道には恵那山が夕映えに映えていました。
初めてのこと 幸治典子
ジャンパースカートを
タイトに直し 初めて穿いた
お尻が丸く突き出て
ほんのり気持ちが染まった
初めて男の子とデートした
風に揺れてた 神代植物園
見交わす目と目も照れくさく
碌に口も利けなかった
赤子に初めて乳を呑ませていた
弟が世にも不思議な眼差しで
私を見つめていた
男の人にもあるでしょう
初めて髪を剃った朝
初めてネクタイを締めた日
初めて名刺を差し出した
浮き立った時が
思いを告白した 夜も
地球が朝を告げる限り
人は新しいときに目覚め
初めてのことに決意し
べール越しの扉をこじ開け
その一歩を踏み出す
一切がらんらんと輝いて
指頭で力がかかる瞬間
心意気で挑戦するのだ
初めてのことを！

札幌通信三田会 活動報告

札幌通信三田会 副会長 小島道央 (1990文)

1. 学ぼう会 2022(令和4)年11月12日(土)午後1時〜午後4時「かでの2・7」にて行う。令和4年度の学ぼう会は、「シェイクスピアの魅力に触れる」作品から見る豊かな人間観察」というテーマで講師に森田雄二君(2008文)をお招きした。今回の「学ぼう会」ではシェイクスピア作品の4大悲劇のうち「リア王」と「マクベス」の2作品を取り上げて頂き、レジュメを基に分かり易く解説して頂いた。2作品を通じて豊かな人間観察の一端に触れることができた。

た。「合同新年会が令和3年に当ホテルで開催されて以降コロナによりすべての行事が対面で実施出来なかった。昨年11月の新塾員歓迎会を契機に動き出せようである。本年は、4月の総会以降の年間計画に基づいて各種行事を開催することとしております。次いで、多数の参加を期待しております。次に真下札幌慶友会会長より、「慶友会は休み中ですが、英語の勉強会を募って会を立て直し、少しずつ活動していきたい。」と挨拶があった。乾杯の発声は、清水君。しばし、歓談の後、出席者全員で自己紹介と近況報告や本年の抱負を熱くスピーチして頂いた。締めめの乾杯は、鈴木相談役。最後に記念撮影をして散会した。



第51回定期総会・懇親会 令和5年4月15日(土)午後5時「ホテル札幌ガーデンパレス 高砂」にて行う。総会の司会を本間君が務める。開会の辞ののち、吉田会長より、次のようにスピーチがあった。「3年ぶりの対面での総会を開くことができ大変嬉しい。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、北方領土のビザなし交流が中止となり、またウクライナ危機による物価高騰が続いており、先行きが不透明の状況である。新型コロナウイルス感染症の位置づけが、5月8日より2類から5類に引き下がる。去る3月30日、北海道日本ハムの新球場、エスコ

岐阜三田クラブ 総会報告

岐阜三田クラブ 会長 丹羽利文 (1995文)

ンフィールド北海道。が誕生した。さて、慶應連合三田会や全国通信三田会の幹事会はハイブリッドにより行われた。昨年、通信教育の卒業生は、累計1万6千名を達成した。来年は開設75周年を迎える。」そして、「塾歌」を黙唱した後、山岡全国通信三田会会長からの祝電が披露された。次に定期総会に入る。議長に相良君を選出。報告事項として、令和4年度の活動報告、会計報告、会計監査報告を行う。次に議事事項として令和5年度の活動方針、予算、役員、会則の改正などが審議され滞りなく終了した。午後6時より懇親会に入る。司会は小島副会長。乾杯ののち、懇談に入る。今回は、会員の自己紹介や近況報告等は行わず、各テーブルで3年ぶりのチャット(気軽にくつろいで話をする)を楽しんだ。締めめの乾杯を古谷君が行い、最後に集合写真を撮ってお開きとなった。



総会では、新入会員の卒業論文を永井雄介君に発表してもらいました。タイトルは、「成人年齢引下げをきつかけとした少年法の適用対象年齢引下げ論争についての考察」でした。この問題は、「成人」という概念の複雑さによって生じるもので、法的には文章にできても国民の生活の中で矛盾を感じる点を明らかにしようとした論文でした。法律が施行された後にこそ考えていかなければならない問題であると感じます。

去る2月25日(土)、岐阜市内のホテルに於いて岐阜三田クラブの総会を実施しました。コロナ禍も収束し始めた頃でしたが、まだ従来の人数には及ばない参加者での開催でした。しかし、久しぶりに顔を合わせた総会は、状況報告や論文発表など有意義なものでした。

いる久保田裕司君は、今年度から岐阜大学大学院に入学し、学問の道に進まれています。そして、自分の生きた痕跡を残そうと考えてみえる方も見えます。皆さんが、其々に知的欲求を満たさんと目論んだり、社会貢献をしたりと活動されています。小生は、現在発表できるような行動を起こしてはいませんが、慶應義塾で培った「意欲」をまだ絶やすことなく、何かの形で痕跡を残したいと考えています。

のリリースをすることに決まりました。総会終了後、昼食会に。今回の会場は金沢市での全国幹事会開催時にゲスト講演頂いた和倉温泉【加賀屋】前社長の小田興之彦君(1991商、米コーネル大院卒)のグループ店で開催しました。当日、会場の準備にご協力頂きました小林料理長様に御礼ご挨拶をいたしました。



88歳を迎え、教え子による「米寿を祝う会」で配布するため執筆したのが本書である。数十年前、易者に「人運がいい」といわれたとおり、人生の転換点でいい人との出会いがあり、2歳の時父を失い「母子家庭」に育ちながら慶應の大学院まで進学し、海外留学も経験、大学に残り、人生を全うする。

広島通信三田会 2023年度総会開催の報告

広島通信三田会 副会長 瀬戸田 誠 (1989経)

4月22日(土)11時30分〜久しぶりのリアルでの総会を、そこう広島店10階【加賀屋 広島店】にて開催しました。初出席のベテラン塾員も顔出しをされ、新旧9名の出席となり、委任状10名、未回答者2名で総会は成立しました。

池井 優著 『学問と野球に魅せられた人生』 88歳になっても楽しく生きる

新著の紹介

全国通信三田会 副会長 吉浜 健二 (1995政)

著者は慶應義塾大学名誉教授、約40年にわたって慶應の法学部政治学科を中心に教鞭をとり、研究者として日本外交史を専攻、「日本外交史概説」、「語られなかった戦後日本外交」などの著書を刊行、学会で活動し、教育者として多くのゼミ生、大学院生を育て、アメリカや台湾の大学でも教鞭をとるなど学問の世界を歩んできた。

池井先生との。出会い。はその著書『三訂日本外交史概説』を通じてです。この本によって外交官試験に挑戦しようと考えたのです。その後、慶應の通信教育課程で学んだ際、直接そのご指導を受けることになりました。



美空書房出版 定価2400円+税 (ISBN978-4-8295-0850-3C0023)

『学問と野球に魅せられた人生』を拝読して

大森 伸司 (2002法)